

宣旨 瑞昌道

軍事極秘

呂集作命第二十四號

呂集團命令

八月十四日一八四五
於九江

一、九江—瑞昌道ハ火王廟（九江西方約十

四料）西方ニ於テ約三料ニ亘リ水害ノ

爲大破壊セラレアリ

二、波田支隊ハ獨立工兵第三聯隊（中隊

欠）ヲ自今予ノ直轄タラシムヘシ

1024.

三、第百六師團ハ獨立工兵第三聯隊ノ一
中隊ヲ九江ニ到リ原所屬ニ復歸セ
シムヘシ

四、獨立工兵第三聯隊ハ九江—瑞昌道ノ
補修ニ任スヘシ
補修及材料交付ノ細部ニ關シテハ夫
々主任參謀ヲシテ指示セシム

1075

五予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

要旨ヲ電話シ後印刷交付

1076

佐藤深長

軍事極秘

呂集作命第二十五號

呂集團命令

八月十六日一六〇。
於九江。

一、集團ハ後續兵團ノ到着ニ伴ヒ地歩

ヲ西方ニ進メ爾後ノ作戰ヲ準備セントス

二、第三通信隊ハ第九、第二十七師團及波田

支隊ニ各無線電信一小隊ヲ配屬スヘシ

三、予ハ九江ニ在リ

No. 25

下達法、印刷交付

呂集團司令官 岡村寧次

1078

長崎海軍

軍事極秘

呂集作命第二十六號

呂集團命令

於八月十六日三品江

一狀況軍情報記錄、如シ

第九師團ハ予ノ指揮下ニ入ラシメラ

レ本十六日ヨリ逐次九江附近ニ到着

ス

又第百一師團ハ有力ナル一部ヲ以テニ

十日頃星子附近ヲ攻略シ次テ同地西
方地區ニ進出スル筈

二、軍ハ後續兵團ノ到着ニ伴ヒ地歩ヲ西
方ニ進メ爾後ノ作戰ヲ準備セントス

三、波田支隊ハ成ルヘク速ニ丁家山前面
ノ敵ヲ撃破シテ瑞昌附近ヲ攻略シ同
地西方地區ニ進出スヘシ

對岸地區警備ニ任シアル部隊ハ各一部
ヲ小池口及孔龍鎮附近ニ殘置シ第六師
團ノ部隊到着ニ伴ヒ之下交代セシメ爾
餘ハ八月十九日マテニ主力ニ復歸セシムヘ
シ
左ノ部隊ヲ九江ニ於テ夫々原所屬ニ復
歸セシムヘシ

山砲兵第九聯隊ノ集成大隊

野戰重砲兵第十聯隊ノ一大隊(中隊欠)
及聯隊段列半部

四第九師團ハ上陸ニ伴ヒ逐次兵力ヲ九

江東南方地區ニ集結シ瑞昌附近ニ

向フ前進ヲ準備スヘシ

特ニ有力ナル一部ヲ以テ全力ノ集結ニ先

夕子瑞昌附近ニ進出スルノ準備ニ在ラ
シムヘシ

上陸及宿營等ノ細部ニ關シテハ先遣
參謀ニ對シ主任參謀ヲシテ指示セシム
五、獨立工兵第三聯隊ハ前任務ヲ續行ス
ルト共ニ被田支隊及第九師團ノ前進ニ協
カスヘシ

其中隊(九五式機舟二十隻共)ヲ八月十九
日波田支隊長ノ指揮下ニ入ラシムヘシ
第四師團架橋材料中隊ヲ九江ニ於テ
其指揮下ニ入ラシム八月十八日頃九江ニ
到着スル筈

六千田兵站部ハ歩兵約一中隊ヲ殘置シ爾
餘ハ配屬歩兵部隊ヲ八月十九日原所

屬ニ復歸セシムヘシ

七、北尾碇泊場司令部ハ所要ニ應ジ一部
ノ揚陸機關(上陸用舟艇共)ヲ波田支隊
ニ協力セシムヘシ

又對岸警備部隊ノ渡江ニ任スヘシ

細部ニ關シテハ相互ニ連絡スヘシ

八、予ハ九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官

岡村寧次

下達法

印刷交付

1086

高瀬長

呂集作命第二十七號

軍事極秘 呂集團命令

八月十六日一三〇〇
於九江

一、第百一師團ハ佐藤少將ノ指揮スル部

隊ヲ以テ八月二十日高壠陳村附近ヲ

出發シ先ツ星子附近ヲ攻略スル筈

二、呂集作命第二十三號第八項ニ基ク

第百一師團ヘノ部隊轉屬ノ時機ハ

27

八月十八日トス

三、予ハ九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

要旨ヲ電話又ハ口達シ後印刷交付

1088

呂集

軍事極秘

呂集命令第二十八號

呂集團命令 於八月十七日ニロロ江

一、獨立輕裝甲車第六、第八中隊ハ南

京ニ於テ予ノ隸下ニ復歸セシメラル

二、兩中隊ハ船舶輸送ニ依リ速ニ九江

ニ到ルヘシ

輸送ニ關シテハ直接中支那碇泊場

N. 25

監部ト連絡スヘシ

三予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法 印刷交付

1090

No. 29

軍事極秘

支那隊長

呂集作命第二十九號

呂集團命令

八月十八日一五四五
於九江

一指揮隸屬ノ系統ヲ異ニスル部隊同

一地ニ宿營スル場合ニハ特ニ定ムル

場合ノ外其地最高指揮官若ハ其

指定スル部隊長ハ警備ニ關シ其

地ニ在ル一切ノ軍隊ヲ指揮シ又宿營

軍隊ノ内務ニ關シ區處スヘシ

二新ニ地ニ到着セル軍隊ハ直チニ前
項最高指揮官若ハ部隊長ニ届告

シ第一項ノ事項ニ關シ其指示ヲ受ク

ヘシ

三千田兵站司令官ハ九江ニ於テ上陸宿
營及通過スル軍隊及軍人ニ對シ防

疫ニ關シ區處スヘシ

四予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

印刷交付

多崎源長

軍事極秘

呂集作命第三十號

呂集團命令

八月十九日一七〇〇
於九 江

一 第百六師團八天山、唐窪腦、雞竹嶺

(標高三一三五高地)ノ線ニ在リテ當面

ノ敵陣地ニ對シ攻撃ヲ準備シアリ

二 野戰重砲兵第十聯隊(三中隊欠)八百

今第百六師團長ヲ指揮ヲ受クヘシ

No. 30

細部ニ關シテハ主任參謀ヲシテ指示
セシム

三、北尾碇泊場司令部ハ一部ヲ以テ前項
部隊ノ一部ノ駱駝山方面ニ於ケル陣
地進入及爾後ノ彈藥補充ニ協力スヘ
シ
細部ニ關シテハ相互ニ連絡スヘシ

1095

四予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

要旨ヲ電話ニ後印刷交付

2

1096

高橋隆光

軍事極秘

呂集作命第三十一號

呂集團命令

於八月十九日一八三〇

一、第四師團架橋材料中隊八九江上陸後
獨立工兵第三聯隊長ノ指揮ヲ受クヘ

二、予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

4831

下達法

要旨ヲ口達シ後印刷交付

1098

軍事極秘

呂集依命第三十二號

呂集團命令

於八月二十日二一〇〇
九 江

一 安慶—黃梅道兵站線ヲ八月二十四日以後撤去ス

二 鋤柄兵站部ハ八月二十四日以後速ニ步兵第百三聯隊第二大隊ヲ彭澤ニ到リ原所屬ニ復歸セシムヘシ

11022

1099

安慶、彭澤間ノ船舶輸送ニ關シテハ在
安慶船舶機關ト直接連絡セシムヘシ

三、予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

印刷交付

高松深長

軍事極秘

呂集作命第三十三號

呂集團命令

八月二十一日口九二口
於九江

自今別紙要領ニ基キ特種煙(特種發煙筒及)

特種發煙輝ヲ使用スヘシ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

印刷交付

1639

呂集依命第三十三號別紙

特種煙(特種發煙筒及
特種發煙彈) 使用要領

一 要 則

- 一 特種煙ハ戰鬥ノ進捗ヲ圖ル爲隨時隨所
- ニ局部的ニ使用スルヲ本則トスルモ狀況ニ
- 依リ計畫的ニ大規模ノ集中使用ヲ實施
- スルコトアリ

二、局部的使用ニ方リテモ過度ノ分散ニ陥ルヲ戒シメ所期ノ効力ヲ發揚シ得ルニ足ルヘキ數量ヲ使用スルコト特ニ緊要ナリ

三、特種煙ハ其効力時間極メテ短小ナルニ鑑ミ直ニ其成果ヲ利用シテ突撃ヲ敢行スルヲ要ス

二、使用要領

一、特種發煙筒ノ使用ハ主トシテ野戰瓦斯隊
所要ニ應ジ第一線部隊ニ於テ編成セル臨時
發煙隊(班)ヲ以テ實施ス

二、野戰瓦斯隊ハ特種發煙筒ヲ計畫的大規模
ニ使用セントスル場合ニハ集結使用スルモ隨時
隨所ニ局部的成果ヲ收メントスル場合ニハ第一
線部隊ニ配屬シ又ハ野戰瓦斯隊ノ幹部ヲシ

テ第一線ノ特種煙使用ヲ援助セシム

三 師團長(波田支隊ニ在リテハ支隊長以下

同)ハ第一線部隊ヲ以テ適宜臨時發煙隊

(班)ヲ編成シ特種發煙筒ヲ使用シ又ハ之ヲ

以テ野戰瓦斯隊ヲ援助セシムルモノトス

四 特種發煙彈ノ使用ハ主トシテ迫撃隊ニ依ル

モ所要ニ應ジ砲兵部隊ヲ以テ之ニ任セシム

五 最前線部隊ハ特種煙ノ成果利用ニ方リ特
ニ機ヲ失セス之ニ膚接シテ突撃シ通常結
面シテ迅速果敢ニ大ナル縦深ヲ突破ス

殘敵掃蕩ノ爲ニハ有力ナル掃蕩隊ヲ編成
スルモノトス

六 特種煙使用ニ方リテハ各兵團毎ニ局地氣象ヲ
測定シ成果ノ發揚ニ遺憾ナカラシム

七 特種發煙筒使用ニ方リテハ相當數ノ發煙筒
ヲ使用シ所要ニ應シ確痰筒ヲ混用スルモノト

ス

特種發煙彈ノ使用ニ方リテモ亦爲シ得レ發
煙彈ヲ混用スルモノトス

三 化學子戰部隊ノ裝備

一 野戰瓦斯隊ハ作戰地ノ地形特ニ道路ノ景況

不良ナルニ鑑ミ機動力發揮ニ遺憾ナカラシムル
如ク裝備ヲ改編シ防護資材ハ各中隊(各獨立
小隊)共概ネ一車輛程度ヲ携行スルモノトス

二、迫撃隊ノ編成ニ關シテハ別ニ示ス

四、資材ノ配當

資材ノ配當ニ關シテハ別ニ示ス

五、秘密保持

一 特種煙ハ勉メテ普通煙ニ混用シ市街地
及第三國人ノ居住地域ノ直接攻撃ニハ特種
煙ヲ使用セス

二 特種資材ハ特ニ其使用ノ痕跡ヲ埋滅シ使用
後ノ特種發煙筒ハ成ルヘク原形ヲ破毀シ深ク土
(水)中ニ埋没(投入)ス

點火不良ノ特種發煙筒ハ之ヲ粉碎シ土(水)中

ニ撒布埋填スルカ若クハ之ヲ蒐集シテ瓦斯
廠若シクハ砲兵廠ニ返納スルモノトス

三、特種煙攻撃ヲ實施セル地域ノ敵ハ勉メテ殲
滅ヲ期シ之カ脱逸ヲ防クモノトス

四、特種發煙筒外筒及收容箱等ニ在ル「あか筒」
「あか彈」ノ註記アルモノハ豫メ之ヲ完全抹殺ス

五、特種煙ニ關スル事項ハ師團以下ニ於テハ勉メ

テ印刷スルヲ避ケ已ムヲ得ス印刷若ハ筆記
セルモノ等ハ特ニ之カ取扱ヲ嚴重ニシ其散逸
ヲ戒ムルヲ要ス

六 報 告

一、特種發煙筒(彈)ヲ大規模(師團長ノ統制
ニ依ル場合)ニ使用セントスル場合ハ速ニ之カ
要旨ヲ報告スルモノトス

1111

二、特種發煙筒(彈)ヲ使用シタル場合ハ少クモ
左記事項ニ關シ適時之ヲ報告スルモノトス
報告提出部數ハ五部トス

左記

- (一) 戦闘經過ノ概要
- (二) 使用時刻 氣象狀況
- (三) 使用要領時ニ使用部隊使用數使用正

面、使用時ノ状況

- (四) 効力及敵ノ防護裝備ノ程度(防毒面型式)
- (五) 成果利用ノ状況
- (六) 用法及資材ノ改善等ニ關スル事項
- (七) 其他參考トナルヘキ事項

No 94

新崎源長
軍事極秘

呂集作命第三十四號

呂集團命令

於八月二十一日ロロ
江

一 波田支隊八本二十一日早朝丁家山附
近ヲ發シ當面ノ敵ヲ攻撃中ニシテ佐
藤支隊八本拂曉星子ヲ攻略シ引續キ
敵ヲ攻撃中ナリ
第百六師團當面ノ敵情變化ナシ

1114

二軍ハ廬山西麓ノ敵ヲ撃滅シテ地歩ヲ
西方ニ進メ爾後ノ作戦ヲ準備セントス
三波田支隊ハ瑞昌附近攻略後武山、蟻
蟻山ノ線附近ニ進出シ先ツ第九師團
ノ瑞昌附近進出ヲ容易ナラシメ次テ
成ルヘク速ニ嗎頭鎮ヲ攻略スヘシ
四第百六師團ハ第九師團一部ノ攻撃

進展ニ伴ヒ當面ノ敵ヲ攻撃スヘシ
攻撃前進ノ時機ハ別命ス

五第九師團ハ速ニ歩兵約五大隊山砲約一
大隊ヲ基幹トスル部隊ヲ以テ瑞昌附近
ヲ經テ所在ノ敵ヲ撃破シ德安北方地
區ニ向ヒ前進シ廬山西麓ノ敵退路ヲ遮
斷スヘシ

1116

爾餘ノ主力ハ速ニ瑞昌附近ニ集結シ陽
新方向ニ向フ前進ヲ準備スヘシ

六第九師團主力進出後ニ於ケル波田支
隊及第九師團間ノ作戰地境ヲ大南山
(瑞昌西北方約五料)巖家坂、王村、鴉頭
山ヲ連ヌル線トス線上一ハ波田支隊ニ屬ス
第九師團ノ作戰地境内ニ在ル波田支隊

ノ部隊ハ第九師團ノ部隊到着後之ト交代シ主力ニ合セシムヘシ

セ予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

要旨ヲ口達シ後印刷交付

1118

軍事極秘

呂集作命第三十五號

呂集團命令

八月二十三日一五三〇
於九江

一、獨立輕裝甲車第九中隊八南京ニ到

リ又第十二師團架橋材料中隊八九江ニ

到リ予ノ隸下ニ復歸セシメラル

二、獨立輕裝甲車第九中隊八船舶輸送

ニ依リ速ニ九江ニ到ルヘシ

ル

輸送ニ關シテハ直接中支那碇泊場
監部ト連絡スヘシ

三、第十二師團架橋材料中隊八九江ニ
到着セハ獨立工兵第三聯隊長ノ指
揮ヲ受クヘシ

四、予八九江集團司令部ニ在リ

呂集集團司令官 岡村寧次

下達法
印刷交付

1121